

事業者の利便性向上と業務効率化のために 7/7

川根本町・島田掛川信用金庫・町商工会の3者で DX 連携協定を締結



神田商工会長(左)信金伊藤理事長(中央右)市川会長(右)

町は、島田掛川信用金庫と町商工会とともに、町内事業所のためのデジタルトランスフォーメーション(DX)推進に関する連携協定を締結しました。

この日役場で開催された締結式には、同信金の伊藤勝英理事長と市川公会長、町商工会の神田優一会長が出席。町内事業者の利便性向上と業務の効率化を進め、DX導入のための支援体制確立を目指す協定書を取り交わしました。

藪田町長は「事業者にとって何が課題解決の支障となっているかを正確に把握し、効果的な支援を提供していきたい」と話しました。

7/11 アーティストに学ぶ芸術の世界

中川根中学校1年生の生徒がそれぞれのイメージを形にして



道具を組み立てる梶原さん

中川根中学校で「ひとつになる」をテーマに、アーティストによるワークショップが開催されました。

講師には秋田県の国際教養大学に通う石神穂果さんが招かれました。校内には石神さんの作品も展示され生徒や教員の関心を集めました。授業では、身の回りにある物を使い、一枚の紙の上で自分を表現した作品を作るという課題が与えられ、完成した作品は生徒同士で紹介し合い、作品に込めた思いを語りました。

1年生の梶原玲音さん(水川区)は「工作が好きだから棚をイメージして作ってみた」と木箱や工具を使って制作していました。

無災害の願いを込めて

7/14

町指定無形民俗文化財「平谷の流したい」が開催。区民約30人が雨の中「たい」を奉納



雨風にも負けず燃え続けたたいまつに願いを託す

大井川に「たい」と呼ばれるたいまつを流して1年間の無災害を祈願する伝統行事「平谷の流したい」が瀬平区の大井川河川敷で行われました。

この日はあいにくの雨模様でしたが、かっぱ姿の区民たちは、各家庭で育てた麦わらを束ねて台座を作り、その上に先端をかご状に仕立てた青竹を組み、たいまつを乗せて大井川に奉納しました。

区長の鈴木淳文さんは「子どもの頃から続く伝統行事。地域の担い手が減ってきたが、区民一丸となって後世に守りつないでいきたい」と話しました。

7/23 地域の子どもたちは地域が育てる

コミュニティ・スクール「わんぱくチャレンジスクール」が開催

地域住民が学校運営に関わる「コミュニティ・スクール」の一環で、第一小学校と中央小学校などを会場に、わんぱくチャレンジスクールが実施されました。

町内小学校の全児童が対象の同イベント。地域住民が講師を務めるピザ作りや昆虫採集、木工工作など11の活動が企画され、児童らは地域住民との交流を楽しみながら学びました。

ペットボトルで作られたお皿のお絵描きを指導した山口夏子さん(徳山区)は「リサイクルの話を真剣に聞きながら、楽しそうに体験する姿が本当によかった。今後もコミュニティ・スクールの活動に貢献できれば」と話しました。

同イベントを企画したコミュニティ・スクール推進員の石原一則さん(崎平区)は「子どもたちが地域の人と触れ合い、自主的に考えて行動する姿がたくさん見られた。大人から教えてもらう初めての経験は、子どもたちには良い刺激になったのではと思う」と笑顔で話しました。



- 1_ネイチャーゲームで草笛に挑戦!「難しいー!」
- 2_ときどんの池で昆虫採集「何が採れたかな?」
- 3_初めてのピザ作り美味しく焼き上がりました
- 4_廃材を使った木工工作体験

ズルズル~おいしい!!夏の思い出に

7/25

竹の流し台を使った本格流しそうめんにご鼓

青部区の「ゆる宿 vocketto」で、町内の小中高生や地域住民を対象に流しそうめんが振る舞われ、夏休み中の学生など20人が参加しました。

当企画は町教育委員会が主催。地域おこし協力隊の伊神花織さん(小長井区)は「コロナ禍で学生が外出する機会が減っている中で、地域住民との交流の場の一助となれば」と話しました。

また、オーナーの三高吉吉さん(青部区)は、「大人が楽しんでいる姿を子どもたちに見てもらい、このようなイベントを楽しみにしてくれる人を増やしていきたい」と思いを語りました。



めんつゆを片手にそうめんを目を凝らす参加者